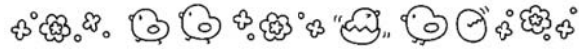


ひよこぐみだより



尚徳福祉会 とちょう保育園



ご入園おめでとうございます。

秋の風が段々心地良くなる10月の訪れと共に、とちょう保育園での新たな生活が始まります。職員一同、子どもたちと過ごす毎日を楽しみにこれまで準備を進めてまいりました。子ども一人一人の“やりたい”意欲が育っていくように見守り援助し、保護者の方との会話を大切にしながら保育を進めていきたいと考えています。何気ないことでもお気軽にお声掛け下さい。そして、この「ひよこぐみだより」を通じて子どもたちの様々な成長の様子をお伝えしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

担任紹介

半年間、子どもたちと一緒に笑顔で楽しい生活を送りたいです♪
保護者の方とお子さまの成長を喜び見守っていけることを楽しみにしています。

これからみんなと何をして遊ぼうかなと今からワクワクしています!!毎日楽しく過ごしましう!よろしくお願ひします。

これからの毎日がとても楽しみです!子どもたちが、日々楽しんで過ごせるよう頑張ります!

お子さま一人一人の成長を見守り共有しながら、ご家族皆様で安心して楽しい保育園生活を送れるよう支えて参ります。

慣れ保育について

子どもにとって、おうちの人と離れるのは初めてのこと。新しい環境での生活はとてもドキドキするもの。一人ひとりの気持ちを十分に受け止めながら温かい雰囲気の中で一緒に生活をしていきたいと思ひます。子どもたちの様子を見ながら少しずつ園での時間を延ばしていきましょう。もし、少しでも疑問に思われたり、お困りのことがありましたらなんでもご相談下さい。

うつぶせ寝について

うつぶせ寝は、お腹の中にいる時と同じような安心感を得られることから赤ちゃんが好むといわれています。しかし、うつぶせ寝は、眠っている間に突然死亡してしまう「乳幼児突然死症候群(SIDS)」のリスクが高まるといわれています。

乳幼児突然死症候群(SIDS)は、生後2~6か月に多く見られ、原因はまだはっきりしていません。一説として、乳児が柔らかいマットレスや布団で寝ていた場合、またはぬいぐるみや枕などが乳児の近くにあって場合に、乳児の口の周りに吐いた息が封じ込められ、それを再び乳児が吸い込むことにより体の中の酸素量が減ってしまい(二酸化炭素が増え)酸欠状態になるというものです。完全に予防できる方法はなく、生後6か月以降でみられるケースもあります。

とちょう保育園ではSIDS防止のため5分に1回、呼吸・体位顔色・様子などをチェックし、うつぶせ寝ではなく仰向けでお昼寝をしていきます。また、うつぶせ寝が好きなお子さんも少しずつ仰向けで寝ることが出来るよう慣れていって欲しいです。